

# 月と太陽

理科の中でも、天体を扱う授業は苦手という先生方も多いのではないのでしょうか？ここでは、JAXAの職員の方から紹介していただいた教材を紹介します。手軽に用意することができ、実感を伴った理解が得られる教材です。その他にも、JAXAや釧路市遊学館に問い合わせれば、様々な資料を借りることもできます。

## ■ 月の位置や形

用意するものはペンライト、発泡スチロール球、ストロー（曲げることができるもの）、つまようじです。ストローを曲げ、短い方からつまようじを入れます。つまようじの先端に発泡スチロール球を刺し込めば月モデルの完成です。

月モデルを持つ人が地球、ペンライトが太陽になります。ペンライトを固定し、月モデルを持つ人がその場で回転すると、月の満ち欠けを疑似観察することができます。また、皆既月食が起こる際の太陽、地球、月の位置関係も理解することができます。



図1 用意するもの



図2 月モデルを観察する

## ■ 月の表面の様子

図3は月の表面の映像です。みなさんは、この模様がどんな形に見えますか？一般的に、日本ではウサギに見えるとされていますね。しかし、どこから見ても模様の形は同じはずなのに、他の国ではまったく異なる見方をしています。アラビアではライオン、北アメリカでは本を読む女性、東ヨーロッパでは長い髪の女性、南ヨーロッパではカニに見えるそうです。このように考えると、月を観察するのが楽しくなってきますね！！



図3 月の表面の模様